



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL http://www.tokai-senko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷲 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 河西 勝 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,077	17.9	△89	—	△59	—	△103	—
2022年3月期第1四半期	2,611	△12.4	△30	—	0	△99.1	△28	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 144百万円 (52.1%) 2022年3月期第1四半期 95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△32.30	—
2022年3月期第1四半期	△8.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,670	7,164	45.1
2022年3月期	13,384	7,155	46.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,170百万円 2022年3月期 6,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2023年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,500	26.2	50	—	70	—	10	42.4	3.08
通期	13,500	21.2	370	404.3	400	247.5	130	168.1	40.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	3,614,252株	2022年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	420,329株	2022年3月期	399,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	3,204,448株	2022年3月期1Q	3,247,572株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化するロシア・ウクライナ情勢に伴う原材料・エネルギー価格の世界的な高騰に加え、急激な円安の進行による物価上昇などの影響により、依然として厳しい状況で推移しました。

新型コロナウイルス感染症におきましては、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除され、企業の設備投資・生産活動や個人消費活動の再開により回復の動きが続いておりますが、新たな変異株による感染拡大第7波も懸念されており、予断を許さない状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、国内染色加工事業では、高騰する原材料・エネルギー価格及び小ロット生産に対応するための生産体制の構築、生産の効率化・合理化を推進しました。

また、SDGsの達成に向け、環境に配慮した節水活動、CO2排出量削減、薬品の再利用や使用量削減・適正使用などの取組みを継続しております。

海外染色加工事業におきましても、原材料・エネルギー価格の高騰など厳しい環境の中、生産性の向上やコストダウン活動の推進に注力しました。

保育サービス事業では、認可保育園2件、企業内保育所6件を新規開設するなど、積極的に拡大を図っております。

洗濯事業では、取引先との新たな取組に加え、ホテルリネンが回復傾向にあり、取扱数量が増加しました。

これらの結果、売上高は3,077百万円（前年同期比17.9%増、466百万円増）となり、営業損失は89百万円（前年同期は営業損失30百万円）、経常損失は59百万円（前年同期は経常利益0百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は103百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は2,249百万円（前年同期比19.0%増、359百万円増）となり、営業損失は101百万円（前年同期は営業利益22百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

国内では、加工料金の値上げにより売上高は増加しましたが、原材料・エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇分を吸収するに及ばず、減益となりました。海外では、市況の回復に伴う受注数量の増加及び加工料金の値上げにより売上高は増加しましたが、原材料・エネルギー価格の高騰の影響を受け、減益となりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は1,768百万円（前年同期比10.4%増、166百万円増）となりました。

（テキスタイル販売部門）

国内では、カジュアル・ユニフォーム用途部門の販売不振が続き、減収となりました。一方、海外では、市況の回復に伴う受注数量の回復及び売上単価の上昇により、大幅な増収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は481百万円（前年同期比66.8%増、192百万円増）となりました。

b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業は、エプロンやパジャマなどの縫製品販売数量の増加により、売上高は68百万円（前年同期比44.9%増、21百万円増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

c. 保育サービス事業

保育サービス事業は、新規拠点開設による売上の増加に加え、新規拠点の開設にかかる費用やその他費用の見直しにより、売上高は705百万円（前年同期比12.5%増、78百万円増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失53百万円）となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、新規取引先の開拓により売上は増加しましたが、エネルギー価格などの上昇により、売上高は60百万円（前年同期比4.0%増、2百万円増）、営業利益は5百万円（前年同期比22.0%減、1百万円減）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業は、新型コロナウイルス感染症に対する各種活動制限の緩和に伴い、国内外ともに保守点検作業や営業活動が徐々に再開され、引き合いは出てきているものの、新規設備の受注・販売には至っておらず、売上高は4百万円（前年同期比9.9%減、0百万円減）、営業損失は9百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、自治体による観光事業者支援策によるホテルリネンの回復に加え、既存取引先との新たな取組を実施した結果、売上高は27百万円（前年同期比38.7%増、7百万円増）、営業利益は0百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

g. その他事業

当セグメントにはシステム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は23百万円（前年同期比6.9%増、1百万円増）、営業利益は18百万円（前年同期比6.5%増、1百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,670百万円（前連結会計年度末比2.1%増、286百万円増）となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の増加51百万円、電子記録債権の増加52百万円、建物及び構築物の増加143百万円、機械装置及び運搬具の増加51百万円等によるものです。

負債は、6,505百万円（前連結会計年度末比4.4%増、276百万円増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加152百万円、短期借入金の増加306百万円、賞与引当金の減少52百万円等によるものです。

純資産は、7,164百万円（前連結会計年度末0.1%増、9百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失による減少103百万円、配当金の支払いによる減少64百万円、その他有価証券評価差額金の増加83百万円、為替換算調整勘定の増加86百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、2022年5月9日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321,277	2,337,950
受取手形及び売掛金	1,933,396	1,969,512
電子記録債権	522,364	574,645
商品及び製品	174,384	216,823
仕掛品	371,142	309,956
原材料及び貯蔵品	362,346	413,444
その他	297,390	325,572
貸倒引当金	△13,751	△14,798
流動資産合計	5,968,552	6,133,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,341,925	1,485,854
機械装置及び運搬具（純額）	1,719,983	1,771,626
土地	1,757,824	1,766,158
建設仮勘定	119,598	70,840
その他（純額）	186,663	139,665
有形固定資産合計	5,125,995	5,234,147
無形固定資産		
のれん	—	27,544
その他	60,511	66,506
無形固定資産合計	60,511	94,051
投資その他の資産		
投資有価証券	1,885,485	1,867,236
繰延税金資産	27,965	8,361
その他	396,980	414,850
貸倒引当金	△81,466	△81,466
投資その他の資産合計	2,228,965	2,208,981
固定資産合計	7,415,472	7,537,180
資産合計	13,384,024	13,670,287

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,803	793,638
電子記録債務	553,251	567,908
短期借入金	1,010,000	1,316,800
未払法人税等	61,960	47,473
賞与引当金	126,720	74,349
その他	805,711	895,938
流動負債合計	3,198,446	3,696,107
固定負債		
長期借入金	1,525,000	1,350,000
役員退職慰労引当金	26,040	26,787
退職給付に係る負債	771,178	769,160
資産除去債務	63,348	92,322
その他	644,687	570,968
固定負債合計	3,030,254	2,809,238
負債合計	6,228,700	6,505,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,538,980	1,371,170
自己株式	△635,904	△660,359
株主資本合計	6,603,196	6,410,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,575	513,637
為替換算調整勘定	△815,261	△728,503
退職給付に係る調整累計額	△23,896	△25,307
その他の包括利益累計額合計	△408,582	△240,173
非支配株主持分	960,709	994,182
純資産合計	7,155,323	7,164,940
負債純資産合計	13,384,024	13,670,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,611,370	3,077,528
売上原価	2,265,594	2,814,829
売上総利益	345,775	262,698
販売費及び一般管理費	376,767	351,798
営業損失(△)	△30,992	△89,100
営業外収益		
受取利息	450	115
受取配当金	20,628	26,231
為替差益	12,759	4,059
雑収入	4,586	5,134
営業外収益合計	38,425	35,541
営業外費用		
支払利息	3,551	3,356
支払手数料	1,422	1,324
雑支出	2,163	1,600
営業外費用合計	7,136	6,282
経常利益又は経常損失(△)	296	△59,841
特別利益		
投資有価証券売却益	40,686	—
国庫補助金	71,250	105,897
特別利益合計	111,936	105,897
特別損失		
固定資産圧縮損	71,250	105,897
特別損失合計	71,250	105,897
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	40,982	△59,841
法人税、住民税及び事業税	23,947	17,125
法人税等調整額	14,263	15,262
法人税等合計	38,210	32,388
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,772	△92,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,171	11,280
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,399	△103,509

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,772	△92,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,253	83,062
為替換算調整勘定	95,732	155,854
退職給付に係る調整額	8	△1,803
その他の包括利益合計	92,487	237,112
四半期包括利益	95,259	144,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,643	68,079
非支配株主に係る四半期包括利益	68,616	76,803

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	1,887,890	45,690	627,137	8,410	4,581	19,556	2,593,267	18,102	2,611,370	—	2,611,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,304	1,272	—	49,457	—	—	53,034	3,579	56,613	△56,613	—
計	1,890,195	46,963	627,137	57,868	4,581	19,556	2,646,301	21,681	2,667,983	△56,613	2,611,370
セグメント利益又は損失(△)	22,221	△8,914	△53,722	7,503	△11,437	△4,219	△48,568	17,486	△31,082	90	△30,992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額90千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	2,245,598	67,049	705,713	10,102	4,127	26,759	3,059,350	18,177	3,077,528	—	3,077,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,827	1,006	—	50,085	—	369	55,287	5,004	60,291	△60,291	—
計	2,249,425	68,055	705,713	60,187	4,127	27,128	3,114,638	23,181	3,137,820	△60,291	3,077,528
セグメント利益又は損失(△)	△101,376	△873	△3,051	5,849	△9,437	619	△108,270	18,630	△89,640	540	△89,100

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額540千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「保育サービス事業」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社マミーズを株式取得により子会社化したことに伴いのれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において27,544千円であります。